



狩野永徳、上杉本洛中洛外図（部分） 米沢上杉博物館

都市景観図を読む

実施時期：

第2セメスター 木曜・5講時を基本とする。ただし、2回目以降の授業日・講時は初回授業時に受講者と相談して決定する。通常授業ほか、現地調査見学（10/7～11/5の土・日または祝日に、日帰りで米沢市上杉博物館の予定）を1回程度行う。ただし、今後のBCPレベルの変化に伴い、内容や形式を変更することがある。

初回開始日時及び場所：

10月5日（木）16：30から（川内キャンパスからの移動時間に配慮して授業を開始。）建築・社会環境工学科 人間・環境系教育研究棟 1階104号室

概要：

都市の歴史を調べるときには、昔の地図や都市図がしばしば活用される。西洋の都市に比べると、日本の都市の場合は近代以降に大きく姿が変わっていることが多いが、主要な通りや寺社などの宗教施設などは当時の面影を残していることも少なくない。このテーマでは、古今東西の都市景観図を例に取り上げ、その代表例の一つである上杉本洛中洛外図（米沢市上杉博物館所蔵）も実際に見ながら、都市や建築の景観表現を学ぶことによって、都市の歴史について議論を展開することをねらいとしたい。

担当教員：飛ヶ谷 潤一郎 准教授

022-795-5025

junichiro.higaya.d7@tohoku.ac.jp

受入人数：最大8人